

玉造

PUBLIC RELATIONS TAMATSUKURI

わたしたちはすてきな人が住み住むとすてきな人になれる玉造町をきずきます

- 住民が創る新しい地域 百里飛行場民間共用化 2
- 明日を夢見るわたしたちの旅B&G「少年の船」研修リポート 4
- 地域防災を担う自治消防団新役員決まる 7
- 地域保健活動のプランナー新たなメンバーで発会式 14



輝くひとみ ~お話をまてばこ~

輝くひとみ		お話をまてばこ	
編集	玉造町	監修	玉造町
原稿	玉造町	写真	玉造町
文責	玉造町	撮影	玉造町
連絡	玉造町	販売	玉造町

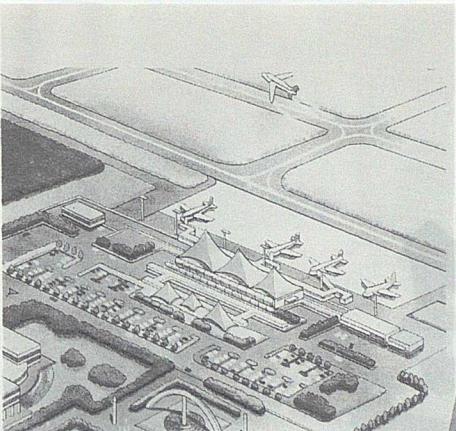


1998

No.454

5

百里飛行場民間共用化とは



ターミナルイメージ図
(小川町作成パンフレットより)

要望書を提出したのに始まります。

これを受けて茨城県は同年十月に「空港立地可能性調査」を実施。続いて、平成六年二月に運輸大臣が茨城県視察の際に百里飛行場民間共用化の実現についての要望書を提出するなど、その後も国への働きかけを強めています。

そして、平成七年八月に県は「百里飛行場民間共用化構想」を発表、平成八年には茨城県と周辺市町村で「茨城県百里飛行場民間共用化推進協議会」を設立させ、同年十二月に第七次空港整備五箇年計画の閣議決定があり、この中に百里飛行場民間共用化が位置づけられました。

百里飛行場民間共用化の動きは、平成五年小川町ならびに同町議会が茨城県に対して「百里基地の民間共用化の可能性及び地域振興方策について調査検討するよつに」との

百里飛行場民間共用化促進協議会」が発足し、地元小川町や玉造町はじめ八町村が加わり飛行場周辺の主要中核道路や関係道路の整備に向けて活発な動きが展開されています。

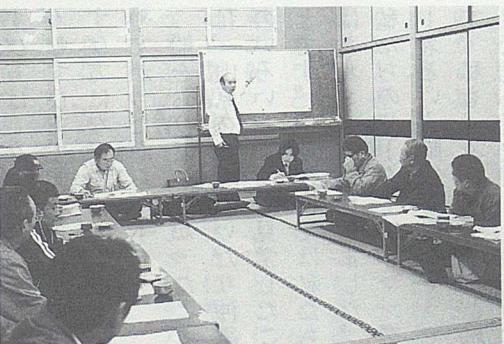
百里飛行場民間共用化促進協議会として、このほど「百里飛行場民間共用化促進協議会」が発足し、地元小川町や玉造町はじめ八町村

「住民の声」を 推進員会で！

当課長等が構成メンバーとなっています。

三月には、防衛庁と民間機の公用飛行場である石川県の小松空港の視察を行いました。視察初日には、大阪航空局小松空港事務所の盛忠昭航空長から空港の概要等についての説明を受け、質疑を行いました。この中で、「騒音については、自衛隊機に比べて民間機は非常に小さい」ことが示されました。その後空港を見学し、小松ドームへ移り小松市役所の担当者より周辺整備や地域振興等についての説明を受けた。この中で「騒音については、経済効果や道路整備、騒音などが中心的な話題となっていました。二日目は、航空自衛隊小松基地においてその概要等の説明を受け基地内の見学を行いました。

委員は、地域住民と行政のパイプ役として身近な地域課題に取り組んでいる区長のみんなさん、また行政運営の監視役として、住民生活福祉の向上のため行政により良い姿勢を提言するなどの大局の立場で活躍されている議会議員のみなさん、そして関係行政担当者です。



住民が創る

新年度に入り五月八日(金)、第一回玉造町百里飛行場民間共用化推進委員会が開催され、委員長に成島忠行町長、副委員長に野原淳一郎町議会議長と井野場一郎町区長会長を選出し、平成九年度の事業報告や今年度の計画等について話し合われました。

委員からは、地区懇談会についても現在の騒音対策地域ばかりでなく、町全体の課題として認識し、その他の地域でも説明や協議が必要との意見や周辺道路の整備等産業振興関連の意見も出されました。

協議に統いて、茨城県企画部交通・産業立地課の和田信貴課長から「百里飛行場の民間共用化について」の説明がありました。概要是次のとおりです。

◆ 空港整備五箇年計画では、「百里飛行場の共用化について引き続き関係者との調整を行う」とし、結論を得た上で所要の整備を図ることで、共用化の整備主体は運輸省にあり、茨城県が協力を請いている。費用負担は、運輸省が三分の二、茨城県が三分の一を

化し、観光レクリエーション産業の活性化や学術研究機能のさらなる発展が期待されます。また、空港周辺では臨空型の多機能な都市整備が進み、新たな産業育成につながります。

◆ 県土の均衡ある発展に貢献もそのひとつで、重要な交通手段となることは確かです。百里飛行場の民間共用化は関東で羽田、成田に次ぐ第三の空港となります。機能的にそれが特徴を持ち、補完する形となることになるかもしれません。

しかし、全国的に見ると地域空港にも種々の課題もあり実現に向けては、地域住民、地方自治体、県や国、そして産業界など多くの人たちが多くの立場で議論し、より良い共用化への準備ができることが期待されます。

新しい地域

百里飛行場民間共用化

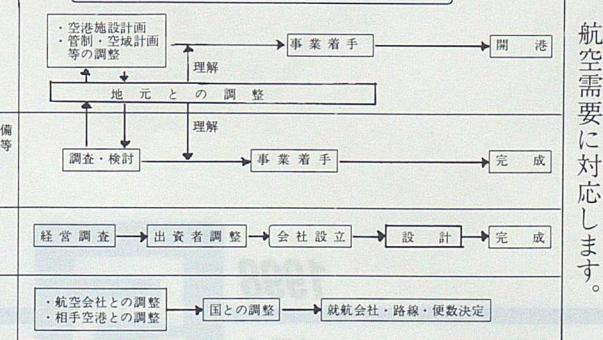
二十世紀は、各地域がこれまで以上に幅広い交流を進めいくことで日本がさらに発展をとげるものと考えられています。航空ネットワークもそのひとつで、重要な交通手段となることは確かです。

百里飛行場の民間共用化は関東で羽田、成田に次ぐ第三の空港となります。機能的にそれが特徴を持ち、補完する形となることになるかもしれません。

しかし、全国的に見ると地域空港にも種々の課題もあり実現に向けては、地域住民、地方自治体、県や国、そして産業界など多くの人たちが多くの立場で議論し、より良い共用化への準備ができることが期待されます。

しかし、全国的に見ると地域空港にも種々の課題もあり実現に向けては、地域住民、地方自治体、県や国、そして産業界など多くの人たちが多くの立場で議論し、より良い共用化への準備ができることが期待されます。

◇ 新産業育成など経済効果に期待人・物・情報の流れが活発化する都市として札幌・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇など主要都市と結ばれ、日帰りの交通圏が拡大します。



今後は、これから推進委員会の調査研究等の成果を待つのみでなく、住民懇談事業の充実や国・茨城県、そして小川町はじめ隣接町との情報交換や共同事業など、民間共用化の意義を理解深めた上で、さらに積極的な取組が望まれそうです。

B&G少年の船

研修リポート

明日を夢見るわたしたちの旅

『少年の船』での出会い

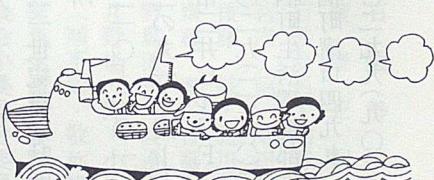
新宿 中山 和香



汗 涙 握手 スクラム

私が「少年の船」に参加した理由は、二つあります。ひとつは、友達をたくさんつけて文通したりすること。二つ目は船の中でいろいろなことを覚えたかったからです。船の中では、たくさん樂しことをしました。レクリエーション、海上大運動会などたくさんありました。私が覚えてきたことは、テーブルマナー、ロープワークです。テーブルマナーでは、スープの飲み方、食事の仕方などを教えてもらいました。私は「どこか食べに行く時やくにたつなあ・・・」と思いました。ロープワークでは、いろいろなむすび方などを教えてもらいました。私が気に入ったむ

すび方は、クラブヒツチといえます。私も「みたいなあ」と思いました。沖縄のいろいろな所を見学した時、私は王国村という所がとても楽しかったです。ハブの仲間を見たり、エイサーというおどりをおどつたりしました。沖縄の海では、ドラゴンボート、ヨット一度、のりたいなあ」と思いました。私は、ドラゴンボートが楽しかったです。「もう一度、のりたいなあ」と思いました。私は、また機会があつたら飲食、行動についても、もつとよく知りたいし、友達もたくさんつくつて文通したりまだ体験していないことに挑戦してみたいと思います。



『少年の船』に参加して

上宿 小野口 文

私は、B&G「少年の船」に参加し、沖縄の文化、環境問題、戦争の恐ろしさ、そして集団生活などたくさんのこと学ぶことができました。

集団生活は、ふだん学校などでもしています。けれども食事をとつたり、いっしょに寝たり、風呂に入つたり、学校ではしていないことをたくさんやりました。五百人かくらの人たちが協力し合って船の中で生活を共にしました。集合時間に遅れたり、忘れ物をしたり、きまりを守らなかつたりと注意された点もありましたが、仲間どうし助け合い、

協力し合つた点もありました。最初はひとりで不安でしたが、みんなが声を掛け合い、すぐに友達の輪が広がりました。

「少年の船」での一番の思

い出は、青くすきとおつたきれいな海です。海のぞくとさんご礁、そして色とりどりの熱帯魚等が、心に深く刻まれています。

「少年の船」での行事はす

べて初めてやつたものばかりでした。手旗信号、ロープワ

ーク、マリンスポーツ、自然探検プログラムなど知らないことをたくさんやりました。

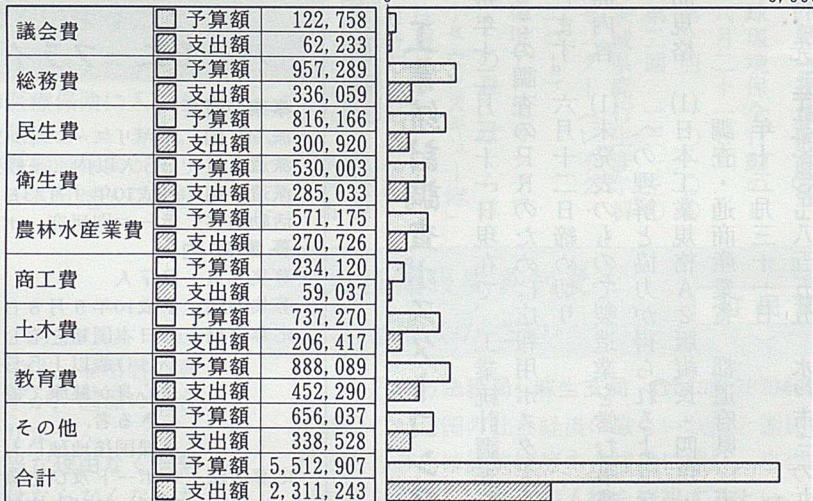
でも、すべてが楽しかつたです。とくにマリンスポーツはとても楽しく気持ちがすつきりしました。カヌー、O.P.Yオット、ドラゴンボート、ビーチドッヂボール、すべてが初めてでドキドキしながらやりました。思つたよりも楽しく時間がたつのを忘れてしまつたほどでした。

沖縄の町中を通るときつこく目につくのが「メンソーレ」と書かれたものです。「メンソーレ」とは沖縄の方言で現代語にすると「いらっしゃいませ」という意味なのです。

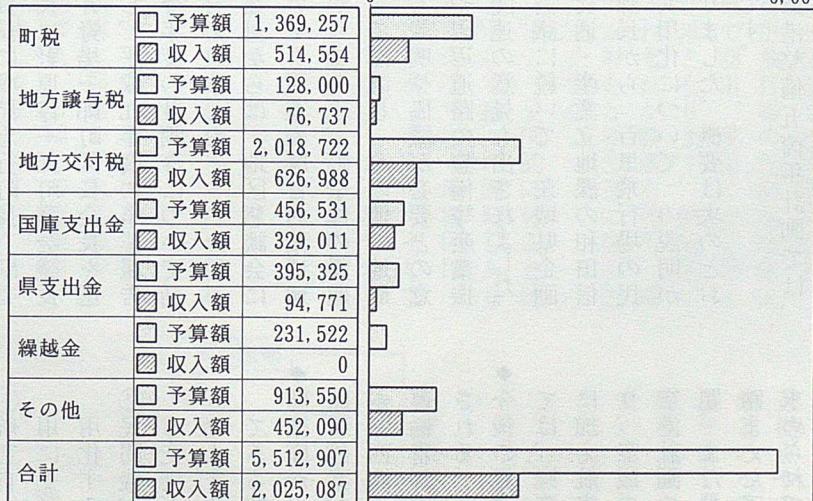
私は、「少年の船」に代語にすると「いらっしゃいませ」という意味なのです。

私は、この「少年の船」に参加して本当によかつたと思いました。

一般会計歳出 (単位名: 千円)



一般会計歳入 (単位名: 千円)



平成9年度財政事情書

(平成九年十月一日～平成十年三月三十一日)

まちの家計簿公表

牛寺弓江 計算十歳入歳出状況 (単位: 千円)

事業名	予算現額	収入額		支出額	
		収入率%	執行率%	支	支
国民健康保険事業特別会計	1,187,010	524,893	44.2	525,716	44.3
老人保健特別会計	1,130,856	500,850	44.3	496,655	43.9
玉造町農業集落排水事業特別会計	56,110	10,168	18.1	28,066	50.0
玉造町公共下水道事業会計	785,830	306,496	39.0	374,849	47.7

町丁税状況 (単位: 千円)

科 目	予 算 額	割 合 %	予 算 額	割 合 %
1. 町民税	430,286	31.4	241,908	56.2
2. 固定資産税	750,878	54.8	228,119	30.4
3. 軽自動車税	16,673	1.2	456	2.7
4. タバコ税	81,615	6.0	44,071	54.0
5. 特別土地保有税	89,805	6.6	0	0.0
計	1,369,257	100	514,554	37.6

玉造町の下半期の財政状況を町民のみなさまにお知らせするものです。本町の歳入歳出予算の執行状況等をみなさまにお知らせするものです。



MIND SCOPE

まちの話題



すみよいまちにしたいね

玉造小学校3年生が市民活動の実態学ぶ

4月28日(火)、玉造小学校（大崎博之校長）の3年生2クラスの児童が社会科の校外学習の一環として玉造町役場・福祉センター・中央公民館を訪ね学習しました。

今回、子どもたちは地域の公共施設や地域の人々の協力的な活動を知りその具体的な姿も合わせて確認しようとしたものでした。

特に、子どもたちに関心のある「玉造町をきれいに住みよいまち」にするための住民の活動、ボランティア・リサイクル・クリーン作戦などについて行政担当者から詳しく聞いていました。

この校外学習をはじめ、今後も生活する地域について地図や資料を基に学ぶ予定です。

私が幼稚園児のころ、母が『グリム童話』の「ヘンゼルとグレーテル」を読んでくれた記憶がある。本当に興味を持つようになったのは、この童話と出逢つてからだと思う。あれから二十数年が経ち、私も娘たちに読み聞かせをするために、週一回図書館へ本を借りに通っている。図書館は私たちを暖かく迎えてくれ、たくさんの方に囲まれていると、なぜか心が和む。

「本がいっぱいあるから、図書館が好き。」と言う娘たち、彼女たちもこれから多くの本と出逢つて行くことだろう。読書を心の糧として、荒削りではあるが、夢に向かって突き進む、創造性豊かな子どもたちに育つて欲しいと願っています。

マインドスコープ

稚児の心に語りかける

～子どもたちに

「お話をたまてばこ」の世界を～

玉造町立図書館を拠点に子どもたちに読み聞かせや季節のまつり、年中行事などを題材に創作活動を続けている学習ボランティアグループ「お話をたまてばこ」平成3年の生涯学習事業のたまつくり女性サロンの参加者が中心となって図書館2階で読み聞かせをはじめ、当時小学1年生だった児童も今や中学生になっています。

活動をしているみなさんは現在7名。家事や仕事の合間に自分の特技を生かした創作活動の腕をみがき、多くの本を読んだ中から子どもたちのこころの糧となるような一冊を選んで、第4土曜日を迎えます。

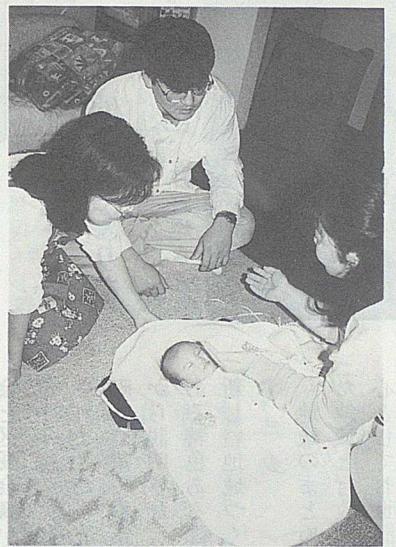
メンバーは、朗読や发声練習を専門に学んだ訳ではなく気負いはないということですが、幼い時に母親に読んでもらった絵本の思い出を伝えようと日々奮闘中です。

図書館に遠い玉川、立花、そして現原地区の子どもたちも、お父さんやお母さんと一緒に一度参加してみませんか。

【毎月第4土曜日 午後2時から 図書館2階】



『グリム童話』
との出逢いから
とびら 読書の
浜 永 作 早 苗



可愛い赤ちゃん 健やかに

新生児訪問制度をご利用下さい

赤ちゃん誕生おめでとうございます。玉造町では新たに誕生した赤ちゃんとその父母のために新生児訪問を行っています。第1子のお子さんの出生届けを提出していただくと1週間以内に助産婦さんから連絡をいたします。希望があれば一人目のお子さんに限りませんのでご利用いただけます。料金は無料です。

日程が決まるとき町で委託してい

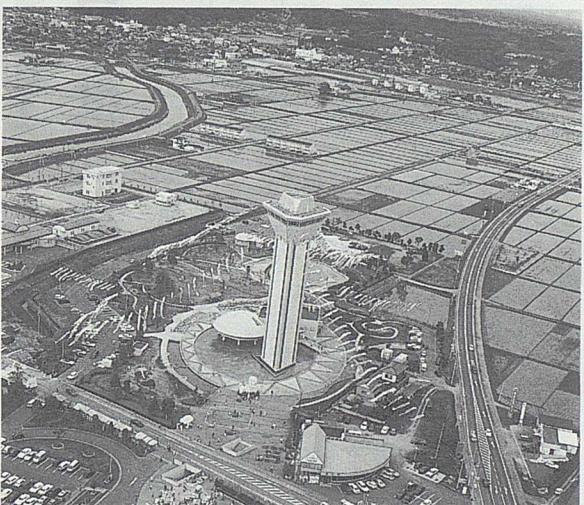
る助産婦さんの関野尚子さんがご自宅を訪問いたします。赤ちゃんの体重や体格を測ったり赤ちゃんの栄養のことや母乳やミルク、生活習慣等についてのアドバイスをいたします。また、母子手帳の活用法、母親の産後の生活環境づくりについても助言いたします。

4月15日に関野助産婦さんと3月3日生まれの里の海老原知歩ちゃんを訪ねました。朝のミルクを飲んでやすやすと一眠りしている知歩ちゃん。お父さんとお母さんの愛に包まれて幸せそうでした。

【お問い合わせ先】

玉造町保健相談センター

☎ 55-3240



鯉のぼりのある風景

「安・近・短」時代の憩いの場 お客様コイマツリ

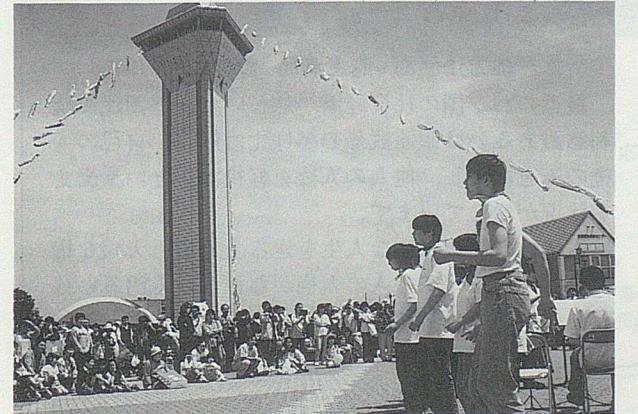
～霞ヶ浦ふれあいランドに

近郷近在のみなさんが来館～

新緑の季節ゴールデンウィークの年中行事になった霞ヶ浦ふれあいランドのお客様コイマツリが今年も4月29日から5月5日の期間開催されました。2日と3日は生憎の大風や雨という悪天候でしたが、5月3・4・5日の3日間で8000人を超え、ゴールデンウィーク期間中では、約13,000人が入館しています。

イベントでは玉造中学校ブラスバンド部の演奏、舟津浜町ばやしや羽生ばやしの関係者による発表がありました。また、全国レベルの実力を持つ土浦日大高等学校ブラスバンド部によるミニ・コンサートと園内ならびに中央商店街で行ったパレードは大宮神社の祭礼に花を添えていました。

特に、コンサートではディズニーのミッキーマウステーマソングやポケモンテーマソングそして輪になって踊ろうなど、子どもたちの喜ぶ音楽ばかりで、演奏にあわせてリズムカルに踊る子どもたちもいました。演奏している生徒のみなさんも「ブラスバンド部の春の恒例行事になっているみたいです。新入生にとってはお客様の前に出る初めての機会なので緊張しながらも楽しみにしているようです」とコメントしてくださいました。



交通事故〇地区をめざす

玉造町安全協会・母の会連合会合同で 交通誘導及び立哨指導講習会を開催

地域の交通安全を願って地道な活動を続いている本町の安全協会と交通安全母の会のみなさんが交通誘導や立哨指導のルールやマナーの基本を学ぼうと講習会を開催しました。

4月18日(土)の午後、会場となった町農村環境改善センターには70名を超える関係者が集まり真剣に麻生警察署須沢交通課係長の講義を受けました。

理論の後は海洋センターアリーナで町内駐在所の警察官の指導で実技を学びました。



ラスメイト

羽生小学校6年

思い切つて実行するクラス

リポーター

岡田未希

私たちの学級
私達のクラスは、とても明るく温かいクラスです。だれかが、ちょっとしたことでも落ちこんでいても、やさしく励まし合うことができます。だからこそ私達一人一人に失敗をおそれないで、いろいろなことに積極的にチャレンジしていこうとする勇気があります。

この四月、私達は最高学年になりました。今は、一年生の給食のお手伝いをしています。「最上級生として下級生のめんどうを見よう」と、みんなで話し合い、やってみることにしました。はじめは緊張して、一年生と話すことが大変でした。でも今ではとても仲よしになって、昼休みなども一緒に遊んでいます。

そんな私達の担任は、田辺光博先生です。先生はとてもやさしくておもしろい先生です。始業式の日、緊

短歌
(正念寺吟行)
薄紅のチューリップ咲きぬ手
折り来て夫の遺影に供う雨の
日 高塚麻子
山桜こぶし水仙咲き揃う子等
の訪う日を待ちて過ぐるを
張してかたまつていたところを、先生のギャグで笑わせてくれました。
時には厳しいときもあるけれど、すぐには雰囲気をもともどしてくれる
先生です。正しいと思うことは、失敗をおそれずに、おもいきつて実行すると
いうことを教えてくれたのも先生です。授業中に発表するときも、

教室はまちがう所だよ。まちがう中で正しい答えを見つけていこう」
私たちの先生



茨城川柳九七年度年間賞 「優秀賞」に木村 権さん（羽生）

茨城新聞の文芸欄で茨城県民にユーモアとエスプリに富んだ作品を紹介している「茨城川柳」。このコーナーは、県下の愛好家から投稿された作品を北浦在住の選考者である河野香苑先生が短評を添えて紹介しているのです。

この度、平成九年度の年間賞が発表され、優秀賞に玉造町羽生の木村権さんの作品が選ばされました。木村さんは、四年前から川柳をはじめたということです。羽生ばやし保存会や玉造ロタリークラブはじめ多くの団体での経験や人々との交流も豊富で、くらしに根付いた味わい深い作品が多く選考者の心を射止めたようです。ここに入賞作品と今までの入選代表作をご紹介します。

葬式の指図しながら生き延びる

〔短評〕 近隣の葬儀には決まって帳場にあてられる。

通夜の手配から寺との交渉、手伝い人の割り振り買物、金の出し入れ、記帳と気忙しい。

帳場の役割りはきつく、ほとほと疲れるがまだ主役の座を降りるわけにはいかない。

財布のひもゆめても出る物がない
ふところであぐらかいてる空財布
鍼の顔写す鏡が悪いのだ
名のられぬさだめへそり棚の奥
じいちゃんの値打ち小遣いで決まり
幼児語でつかり客に話しかけ
練れたのでなく短気が老化した

古文書を読んだといふみたい
新築し主は古家で飛び住い
梅雨時の家の扇輪はすざれる
一万円掛け抜けもの空財布

机音に包まれた現代社会で、早朝は大地や森や生き物たちの織りなす音を触れ合える貴重な刻です。ちょっとぴりたり起ききて朝露に輝く木々や草花そして小鳥たちにあってみませんか。子どもの輝く姿も発見できるでしょう。

文芸 わんか 聞い どぐれ

玉造

水がはられた水田に
緑の可愛らしい命が一
面に敷きつ
められ、人間と大地の語り合
いの始まりを感じる季節とな
りました。『枕草子』の『春
はあけばの・・・』、「冬は
つとめて」等ありますが、こ
の季節、早朝の空気はとても
すばらしいものです。健康管理
のためには朝の散歩やジョギ
ングを楽しむ方も増えている
ようですが、澄みきつた萌黄
色の自然を満喫するのには最
高の時間帯となっています。

今、鳥たちも早朝から元気
にさえずっています。鳥を知
らない者にとっても何種類か
に区別できます。湖岸にアシ
やマコモの藻場があつた頃に
はヨシキリの聲に目覚めたの
を思い出します。

機械音に包まれた現代社会で、早朝は大地や森や生き物たちの織りなす音を触れ合える貴重な刻です。ちょっとぴりたり起ききて朝露に輝く木々や草花そして小鳥たちにあってみませんか。子どもの輝く姿も発見できるでしょう。

照る日曇る日三寒四温桜咲く
日が待ち遠し 岡野竹堂
春のうららに日脚も伸びて木
の芽草の芽笑う山 小野口とく女
暑さ寒さと手塩にかけてやつ
と咲かせた蘭の花 風間世紀
勝った負けたと騒いで遊びゲ
ートボールで日暮まで 北村久仁絵

不況知らずか今年も見事心な
ごます花吹雪 川島草女
無事は朝日にお札は夕日折り
忘れぬ老いの日々 河野有美
春の小川は菜の花畠川の流れ

に添つて咲く 藤崎藤娘
年に一度の花見の会がまたか
今年も雨の中 橋本藍
桜前線西から北へ愚図る天氣
に気が揉める 谷島さかえ
春の桜の花火灯り 羽成せい子
み取り花菜漬 高塚茶水
地震・雷・普通の子供親父日
陰で火事・金融 大崎美代
闇に氣を引くほのかな香り春
のさきがけ沈丁花 森作喜代
甘い悲しい二人の恋を雲の切
れ間で覗く月 市村きよ子
無人駅降り満開の花に合ふ

春の桜の花火灯り 羽成せい子
み取り花菜漬 高塚茶水
地震・雷・普通の子供親父日
陰で火事・金融 大崎美代
闇に氣を引くほのかな香り春
のさきがけ沈丁花 森作喜代
甘い悲しい二人の恋を雲の切
れ間で覗く月 市村きよ子
無人駅降り満開の花に合ふ

には裙模様 大輪しす女
飲んで歌つて今宵は花見頬を
真っ赤に千鳥足 磯山咲子
空もどんより筑波のお山姿見
られぬ花曇り 関口育子
家庭菜園よりとりどりみどり形や
二の次旬の味 村松茂伸
今日も昨日も手にするほつき
跡を気にする春落葉 大曾根玉扇
日の春の日闇もてあます雨
への恨みの二つ三つ 成島青芦
*すすり泣いてる新入園児離
れ難いか母の膝 駒館せつ子

河西、永田、日下部いずれも使い手であった。河西を斬りつけている山口の脇を広岡と増子が駆けぬけた。広岡はうしろから日下部の右肩に斬りつけた。増子は両刀名人の永田太郎兵衛の右脇腹を後ろから刺した勢いで籠の長柄まで押していく。永田は長刀を逆手に持ちかえると、うしろの増子の顔あたり目がけて突き出した。さけきれず増子は鼻から左ほほを骨まで斬られた。永田はあわてて永田から飛びはなれた。向きなおった永田はすでに刀を順手にしていた。永田は怪我にもめげず烈火のごとく増子に打ち込んで来る。増子はうけるのが精一杯でズルズル下がって、届け出役の斎藤監物の前も通りすぎた。増子が永田を刺してからまだ数分しか経っていないなかつた。永田は一気に増子を仕とめようとしていた。見かねた斎藤がいたまれば、抜き討ちで目の前の永田の左脇腹を払つた。手応えがあった。永田はひるままずに向きなおりさまに斎藤の左肩に打ち下ろした。これまた、ズンとした手応え。斎藤はドオーと前にくずれた。さらに向きなおった永田の懷に増子がまた突き入れた。腹ばかり三か所切られた永田、ドクドクと血が流れてもう力がない。それでも立っている。増子は刀をさらに入れようと押し立てる。そうはさせまいと、永田はドンドン下がる。の籠脇にもどつたところでどつとくされた。

日下部三郎衛門は強かつた。山口と広岡を相手に構えていただけで、一步も籠に近づけさせない隙がない。腕が違うのである。そこへ身支度をおえた河西がもどつて来て、山口をうしろから斬つた。それに目をやつた広岡の瞬をとらえて、日下部が広岡の左の小手を半ばまで斬つていた。その日下部に増子が笑いて出る気配を見せた。増子に向きなおった日下部の頭上に佐野竹之介がうしろから一刀を振り下ろした。日下部は脳震湯で増子の前によろめき出てきた。その頭蓋に今度は増子が一撃した。しかし倒れない。広岡が半分もげた左手をブラブラさせながら、右手一本で面をねらって飛び込んだ。運が悪かった。目にかかった霞を払おうと、日下部は刀で目の前を掃いた。広岡はその切先でのど笛のあたりを軽くながられてしまった。しかし日下部も廣岡に面をとられ、ついにたおれた。日下部三郎衛門、右肩二寸、頭蓋三ヶ所いすれも深手、縫合五十六針、八月に至り死亡(同上)

「散れ、手斧どおりに散れ」彼らはそのまま京、大阪方面に出て、次の行動に加わる申しあわせをしていた。自害自訴はもとより、けが人の介抱などで手間となる



水戸の鬼の子たち 7

福田由起子画 福田勝昭作

明治まで生きのびた海後の話によると、「タバコを二、三服する間で……」とあり、十分ほど戦闘であつたらしい。この日、登城できなくなつた井伊大老の幕府への欠席届けには、「今朝登城の際、狼藉の者およそ二十人、鉄砲など打ちかけ籠を目がけて斬り込み候。一人を打ち取り多數に手疵、深手を負わせ候につき、ことごとく逃げ去り候。拙者儀取り押さえ方指揮中に怪我致し候につき、ひとまず帰宅致し候。三月三日 井伊直弼」とある。首をなくしたことも怪我のうちなら、こんな風にも記述できる。

有村が左からズブリと籠を突き刺した。手応えはあつたが、声の反応がない。右から広岡がやつてみたが、同じことであつた。そこへ大関が来て左からズブリ、また同じ。予期した反応がない。生き物の気配がないのである。みんなボカンとしている。「開けてみよ」と関鉄之介が大声で指示をあたえた。なるほど。大老、井伊掲部守直弼はすでに死んでいた。四十五歳であった。

(六月号につづく)

佐野は赤槍のブロックから籠ブロックにまわつて来ていた。赤槍ブロックの戦はすでに終わっていた。即ち、沢村と加田はすでに殺され、草刈は頭蓋と顔面に計五ヶ所、岩崎は顔面に五寸と七寸の深々とした傷をうけ、二人とも雪の上にあぐらをかいている。もうほとんど意識がない。それでも刀をぎつて戦う意志を示している。佐野は二ヶ所ほど斬られていたが、闘志満々であった。その佐野が河西と相対している。態度物腰から互いに好敵手であることを見てとつていた。

「手出しは無用ぞ」と佐野が味方に大声をかけた。

「おお、来るか。望むところよ」と河西も応じた。

目的を持った戦争のさなかに、個人的な剣術の腕較べをしようとするのである。死に役の人たちにとっては、楽しみつつ死ねねばめつけものということか。

全体の勝ち負けはすでに決していた。彦根側で旺盛な戦意をしているのは、もはや河西ひとりになつていて。佐野と河西は互いにズタズタになるまで斬り合つた。

「愉快じや、愉快じや」とかかげていた。

「おう、まつたくじや、まつたくじや」と唱和しながら子之次郎(十九歳)がつれ立つていく。

次左衛門はよろけて、死体にけつづました。その拍子に切先から直弼の首がぬけおちた。刺しなおそうとしていたところ、後頭部を一撃された。氣を失つていて小河原秀之丞が蹴飛ばされて氣をとりもし、むつくり起きあがつて斬りつけたのだった。次左衛門は振り向きざまに秀之丞の顎を下から斬りあげた。秀之丞はまた昏倒した。これが最後の戦闘であった。

【保健協力員】 ◇荒宿—鈴木かつ子・高野富美子・安部和江・栗又栄子・安部政枝◇藤井—鈴木香代子・田山真由美・田口英美子・堀江みち子・関野房子・梅原美千代・仲田みつ子◇根古屋—金塚孝子・阿部和枝・関野奈々子・高貴子・関野幸枝・根本洋子・阿部恭子◇西谷—高野正恵・金塚信子・高野靖恵・山口弘子・西谷清江・斎藤イシ・田中ふみ・石川弘江◇西蓮寺—田中美千代・鈴木尚子・根崎よを子・伊藤操・浅野まさえ・根本幸子・松金もと子・田中由美・金塚節子◇新田—理崎英子・理崎鈴子・野原まさ子◇竹の塙—飯田節子・飯田恵子・伊藤せつ子・根崎タイ◇舟津—大輪留美・高塚みつ子・磯山洋子・出沼尚子・磯山明子・大輪恵美子◇宿—茂木ハナ子・堀田つき・曾根春枝・上山久子◇新宿—松金和子・青木孝子・森内みどり・佐山栄子◇小座山—田中昭子・堀田榮子・酒井緑子・飯田とし◇横須賀—新堀清子・中島和代・中島秀子・中島洋子◇里—吉川美和子・大和田すい・海老原佳子・荒木田美智子◇内宿—甲洋子・堀和み枝◇横町—宮崎幹子・鈴木妙子◇加茂—萩原豊子・栗野文子・小野口佐代子◇上宿—橋詰文子・田澤美代子・平野なを江・松崎仁子・道川なを子・成島晴美・川島さつ・杉山定子・戸邊邦子◇川向—橘川照江・茂木紫津子◇高須—鈴木共子・高野文子・齊藤政子・栗山としえ◇下宿—久米妙・田山あきの・高野紀世子・水飼静子◇柄貝一平間俊子・大和田末子・郡司セキ◇諸井—沼田やす・中田和子・茂木登美子・川島すゑ・鶴田康子・田口良子・竹村ヒサ子・泉一仲鳴政枝・渡辺俊子・飯島さよ・渡辺八重子・谷田川ゆみ子・黒沢節子◇緑ヶ丘—柿下文枝・栗股悦子・上原靖子・寺田美千代・石橋則子・小川由美・深沢きみえ・高橋淳子◇捻木—森作ひろ子・大曾根輝江・杉山文子・藤崎ミツエ◇芹沢—菅谷恵子・千ヶ崎清榮・大曾根美代子・石田みどり◇上山—菅谷待子・廣内恵美子・廣原しづゑ・廣内愛子・渡邊愛子・笛目恭子・風間きみ子・金澤よし子・平間とし子・小松崎憩・中山一八木洋子・稲見明美・森美津子・九木富美子・荻久美子・長峰はつ江◇若海—原田はる江・横田好子・樽見富美子・原田成江◇谷島—森作秀子・高塚豊代子・林多見子・吉川夏江・戸田しづ子◇浜—高木八枝子・川島紀子・石井三代子・島田明子・貝塚正子・川島裕子・小松崎弘子・井川律子・菅谷文子・代々木節子・須貝恵美子◇八木蒔—千ヶ崎千恵子・千ヶ崎典子・井坂次子・平間恵子・鎌田春代・小沼逸子・小沼清子◇羽生—英保和子・原勝代・手賀富美江・本多よし子・鈴木きく子・今泉孝子・小澤志満子・山口由己子◇沖洲—幡谷妙子・狩谷敏子・岩瀬洋子・秋山かつ子・平間由紀子・石崎敬子

(敬称略)

いきいき生活

地域保健活動のプランナー 新たなメンバーで発会式

平成10年・11年度保健協力員を委嘱



本町が進める保健・医療・福祉一体化構想の上でも、地域住民のみなさんの予防保健への理解と協力は重要課題となっています。

特に超高齢社会が到来し、疾病構造も複雑多様化の様相を示し、医療費が増大し財政基盤が脅かされつつあります。

こうした状況下にあって、住民参画型の予防保健活動が、玉造町保健協力員制度です。研修を積みその学習成果を地域住民への啓蒙

の形で展開しています。

4月9日(水)、玉造町保健相談センターを会場に各区各班から推薦された186名の保健協力員の委嘱状交付式が行われました。今後は、優良市町村視察や調理実習、講演会等の研修事業、ならびに総合健診勧奨や婦人科がん検診受診勧奨等の協力事業をとおして、保健衛生思想の普及や担当地区世帯の問題点の把握・情報提供、そして住民自らの健康を守るために地道な活動が展開されることでしょう。

また、この日第1回目の研修として、荒木均茨城県鉢田保健所長による「健康づくり地区組織活動について」と題した講演があり、協力員のみなさんは「かかりつけ医」や「生活習慣病」等の捉え方について興味をもって学習していました。

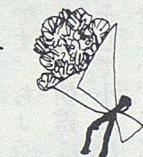
誕生おめでとうございます



出産
(4月受付分)

ところ	氏名	性別	保護者
根古屋	齊藤 みや	男	成
緑ヶ丘	田中 彩	女	友
新宿	佐山 和希	男	博
高須	武田 陽	男	志
捻木	店曲 春美	女	治
八木蒔	千ヶ崎 横	男	栄
緑ヶ丘	石田 尚樹	男	智
羽生	今泉 翔太	男	作
横須賀	竿臺 理沙	女	茂

お悔やみを
申し上げます



死亡
(4月受付分)

ところ	氏名	性別	年齢
根古屋	名島 仁一	男	24
新田	法水 浩文	男	36
新宿	松金 きよ	女	85
芹沢	若泉 富蔵	男	85
藤井宿	阿部 せつ	女	81
下宿	久米 志免	女	93
羽生	羽生 利男	男	83
西蓮寺	小野瀬 司	男	84
荒宿	高野 たけ	女	65
羽生	羽生 とめ	女	87
浜	高須 クマ	女	72
八木蒔	千ヶ崎 葉奈	女	3
沖洲	橋本 サト	女	95

※掲載を望まないときは、届け出の際もしくは役場総務課秘書広報係(☎0299-55-0111)へご連絡ください。敬称略。



平成十年五月二十五日（四五四号）

発行 玉造町役場 編集 総務課

〒311-
3512

TEL ○二九九(五五)○一一
茨城県行方郡玉造町甲四〇四



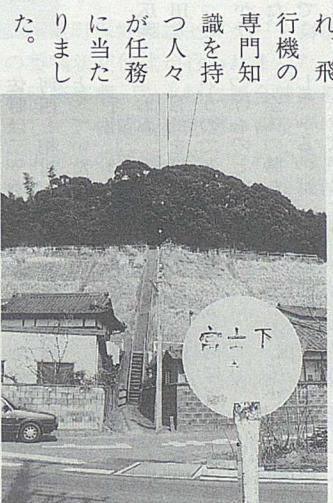
下宿の停留所から役場前で潮来方面と土浦方面の二方向に別れます。今回は柄貝・諸井を真っ直ぐに潮来へ向かうバス停を訪ねましょ。玉造町の市街地には、柄貝の「役場前」、諸井の「玉造小学校下」と「玉造中学校下」と公共施設名のバス停が続きます。そこをまた直進すると国道三五四号線に交わります。この道は、群馬県高崎市を起点とし茨城県鹿島郡大洋村までの総延長二四〇・二キロメートルを測ります。群馬県、栃木県、埼玉県、茨城県と四県結び関東の東西を横断する重要な道路で茨城県管理部分は一一四・八キロメートルに及びます。

この諸井交差点の東側にある丘は、富士峰と呼ばれ、古くから人々の信仰の場として利用されてきました。古墳時代には当地方の豪族層の墓域となり現在も富士下古墳群を形成しています。また、台地の延長上には縄文時代から平安時代等の複合遺跡である新堀貝塚もあり、早くから人々の住付きがあつたこと

水辺の停留所に降りて

②

バス停
富士下
すてきなまら



玉造城主ゆかりの八幡山永幸寺は、文永二年（一二七二）の開基で、天台宗でありました。弘安三年（一二八〇）に時宗に改宗されました。本尊は玉造城主寄進の阿弥陀如来立像です。元は玉造城内（現在の内宿）にあったものを徳川光圀が富士下へ移させました。地名からも、玉造氏ゆかりの地であつたかも知れません。

また、浅間神社は「浅間様」いわゆる「富士の神様」であり、富士山を眺望できる富士峰が富士遙拝所として神様を祀つたもので、古い富士信仰がベースとなり、江戸時代末に大流行した富士講の影響もあり、人々の熱い信仰を集めたものと考えられます。

戦時の歴史にも富士峰は登場します。昭和一八年に敵機早期発見のために、警察と軍の共有施設の形で、防空監視哨が当地に造られ、飛行機の専門知識を持つ人々が任務に当たりました。

がわかつています。台地の字名は、ドウメキ・富士下からなり、近郷では珍しい時宗の永幸寺の境内伽藍を置き、浅間神社が鎮座しています。

家庭教育きほんのき ②

教育相談員 久米信良

朝、近所の小学生が、「お早ようございます」

と、元気にあいさつをして通ります。今日一日が、何となるか良いことがあります。明るい気分になります。

家庭の中でも、親と子が、兄と弟が、姉と妹が、嫁と姑が、明るい笑顔で、「お早う」と、あいさつを交わすことがあります。

友達との間でも、あいさつは友達づくりの始まりです。友達と、お互いに、仲直りをしたいと思つても、なかなかつきつかないことが多いのです。そんな時、どちらかともなく、「お早う」と、声をかけられれば、仲直りのきっかけができるでしょう。家庭でも、学校でも、職場でも、近所づきあいでも気持ちよくあいさつできたら、どれだけ人

間関係が和やかに、なめらかになることでしょう。

上手にあいさつができる人には、幼い時からの習慣が大切です。子どもが、あいさつをしなかつたら、親の方から、先生の方から気軽に「お早う」と、声をかけられればよいのです。一番のお手本はお父さんであり、お母さんは、お父さんと、お母さんは、「お早う」と、あいさつを交わしながら、お子さんの様子を観察しましよう。いきいきしているか、しづんではいか。明るいか、暗い顔をしているのか。いつもと、ちがつた様子はないか、気をつけてしましよう。お子さんのからだや、心の様子の変化を気をつけて見ましよう。

お子さんのからだや、心の様子の変化を気をつけて見ましよう。お子さんと一緒に相談しましよう。お子さんの変化を早く見つけるのも親の役目です。

